



問 ペット同行避難の規定、想定は

答 ペットの同行避難は受け入れ可

問 本村の地域防災計画ではペットの災害時の避難はいかに規定・想定されているか。

答 ペットが飼い主と共に避難所に避難し、避難所の近傍で受け入れる同行避難が可能であるが、ペットの管理は飼い主の責任で行うため、平時のしつけや準備が必要である。村内いずれの避難所でもペットの同行避難は受け入れ可能である。

問 原子力災害時の広域避難計画にはペットを連れての避難について特に記載がないが、広域避難の際はどういう想定しているか。



光風会 村上 志保 議員



村内の避難所ではペットの同行避難が可能

答 自家用車での避難所までの同行避難は可能と考える。一時集合場所からのバスでの避難では同乗者のアレルギーなど配慮が必要となりバスにペットを乗せることは難しく、飼い主が前もって一時預け先を確保することが現実的と考える。

問 広域避難受け入れ先の自治体とペットの避難については具体的な打ち合わせは行っているか。

答 打ち合わせはまだ行っていないが今後検討したい。

東海村発足70周年記念式典に参加

7月6日に東海文化センターで行われた東海村発足70周年記念式典に議員一同で参加しました。式典は2部構成となっており、村内の中学生も運営に関わり盛大に執り行われました。

また、東海村〇×クイズや記念動画が上映されるなど、改めて先人たちが築いた歴史等を振り返る機会となりました。

本年度は東海村発足70周年記念のメインイヤーとして今後も多くの記念事業が予定されており、東海村の魅力をもっと発信するまたとないチャンスです。多くの村民の皆さまの記憶に残り、世代を超えて絆を深め、本村の未来の姿を思い描ける機会になることを期待しています。



70周年記念式典での集合写真



議会を代表して挨拶をする河野議長